

## 育児休業取得状況等報告書

### 【企業担当者記載欄】

1 企業名	コクソン株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 役職者（男性）が育児休業を積極的に取得することにより、一般社員が気兼ねなく育児休業や有給休暇を取得できる風土の情勢をしたいと考えた。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 社長と店長が取得をし、社内で告知することによってトップダウンでのメッセージを伝える事が出来た。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 当該社員以外の事業所を支える他従業員に作業負担が大幅に掛かってしまう為、受注量の調整を実施する事や、余裕ある人員計画の策定を行った。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 複雑で特殊な重作業に関しては、当該社員の休業前後に日程を変更したり、取引先企業に作業委託を行った。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 作業場の負担が大きくなりすぎないように、別事業所からの一時的なヘルプ体制を構築できるような体制作りを考えている。</p>

### 【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 28 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 第一子が生まれ、勤め先が育児休業の取得が取りやすい環境であったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 育児の重要性や妻へのサポートが出来たこと。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 同僚への引き継ぎ、取引先への育児休業取得の連絡をし、円滑に業務を引き継げるように対応したこと。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育児休業を取得出来ることの認識を広め、育児休業の大切さを共有し、職場での協力体制を高められる環境づくりの構築。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育児休業取得のメリットや重要性を知って頂きたい。</p>

#### (注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。  
なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。